

2020年3月期 ミニディスクロージャー



TOMATO通信

第137期 営業のご報告
(2019年4月1日～2020年3月31日)

がんばろう!岡山

北木石の丁場(笠岡市北木島)



取締役社長 高木 晶悟

新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けておられる皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

平素よりトマト銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび2019年度のミニディスクロージャー（営業のご報告）を作成いたしましたので、ご高覧ください。

まず、2019年度の当社の経営成績についてご説明いたします。

業容につきましては、低金利環境を見据えたポートフォリオの改善に計画的に取り組み、以下のとおりとなりました。

貸出金残高は、前期末比331億円減少しました。これは、政策的な運用を行ってきました仕組ローンなどの大企業向け貸出や地方公共団体向け貸出などを減少させたことが要因です。一方、注力しています中小企業向け貸出は順調に推移し、前期末比88億円増加となりました。有価証券につきましても、金利リスクが大きい低利回りの国債などを将来を見据えて圧縮したことにより前期末比321億円減少しました。預金残高は、貸出金・有価証券の減少に合わせて定期預金を減少させたことにより前期末比52億円減少しました。

損益につきましては、経常収益は貸出金利息の減少を主因に、前期比3.5%減の174億40百万円（業績予想比△59百万円）となりました。経常利益は資金利益の減少

に加え、株式の減損処理を行ったことなどから前期比4.7%減の17億45百万円（業績予想比+45百万円）となり、当期純利益は前期比4.9%減の12億19百万円（業績予想比+19百万円）となりました。低金利環境が続くなかで前期比では減収減益となりましたが、経常利益、当期純利益はともに業績予想を上回ることができました。

また、これまで5年間で築いてきました、お客さまに徹底的に寄り添う当社のビジネスモデルである「本業支援・最適提案」活動は定着し、お客さまからも高い評価をいただいております。その結果、安定的な発展の基盤となる事業者貸出先数は2019年度に287先増加して10,817先となり、あわせて中小企業向け貸出残高も計画を上回るペースで増加を続けています。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、地方経済も大きな影響を受けています。このような大変な時こそお客さまに徹底的に寄り添い、創業時から継承している困った時こそしっかり応援させていただく「相互扶助」の精神を胸に、これまで「本業支援・最適提案」活動で培ってきた経験や知識を活かし、「土砂降りの雨の時にも傘を差し出す」この姿勢を貫く方針です。これからも地域金融機関としての使命を果たしてまいりますので、地域の皆さま、株主の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2020年 6月

中期経営計画 「第2次 みらい創生プラン」

2018年4月～2021年3月（3ヵ年）

基本方針

お客さまに徹底的に寄り添い、当社のビジネスモデルである「本業支援」「最適提案」を更に深化することで、お客さま・地域・当社の持続的成長・発展を実現する

重点目標

ビジネスモデルの深化を通じた地域経済活性化への貢献および収益力の強化

持続的・安定的な成長を支える確固たる経営基盤の確立

全社員が活躍できる働き方改革の促進

ビジネスモデルの更なる深化～本業支援「**二刀流作戦**」の推進～

本業支援 第1フェーズ

トマトみらい創生プラン
(2015年度～2017年度)

お客さまの「稼ぐ力の向上」

主な支援メニュー

創業・新事業支援

販路開拓支援

M&A支援

事業承継支援

海外進出支援

コスト削減支援

事業の
本業支援

本業支援 第2フェーズ

第2次 みらい創生プラン
(2018年度～2020年度)

お客さまの「稼ぐ力の向上」と
お客さまの「財務基盤の強化」

二刀流作戦

事業の
本業支援

×

財務の
本業支援

持続可能なビジネスモデルの確立

本業支援の更なる深化

(2021年度～)

お客さまの夢の実現に向けて
地域経済の活性化に向けて



事業の
本業支援

お客さまの将来ビジョンや課題などをしっかりと理解し、その実現や課題解決に向けた最適な提案を行うことで、事業の成長を支援する活動

財務の
本業支援

事業性評価やキャッシュフローの把握などにより、お客さまの資金繰りや財務基盤の強化などを支援する活動

夢をかなえ、地域の未来を創造する銀行へ

法人のお客さまへの

本業支援

お客さまの経営課題・ニーズに応じた事業・財務の本業支援を積極的に展開します

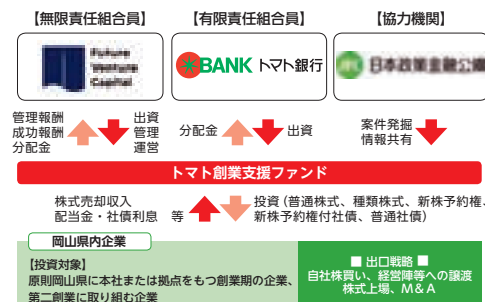


創業・新事業

トマト創業支援ファンド

地域の創業・新事業展開を目指すお取引先の支援を目的に、2017年10月に設立した「トマト創業支援ファンド」は、2020年3月末時点で投資先数10社、累計投資額123百万円となりました。

トマト創業支援ファンド



おかやま共創パートナーシップ

2019年10月、それぞれのノウハウや人的資源を活用し、創業支援や事業承継の強化を通じた地域経済の活性化を目的



事業継続力強化計画策定講座

に、当社、中国銀行、日本政策金融公庫の3金融機関で「地方創生に関する連携協定書～おかやま共創パートナーシップ～」を締結し、2020年2月に「事業継続力強化計画策定講座」を共同開催しました。

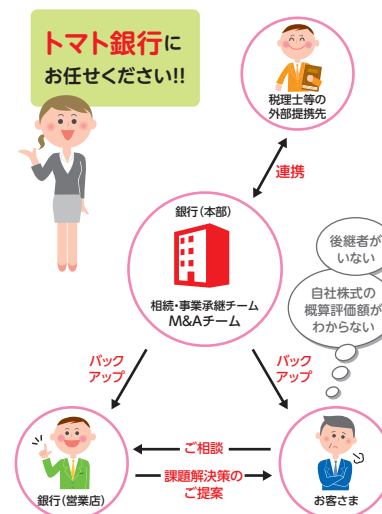
また、2020年4月には、新たに岡山県信用保証協会が本パートナーシップに参加しました。



成熟

相続・事業承継支援

高齢化の進展や後継者不在などを背景とするお取引先の相続・事業承継ニーズの高まりを受け、当社では、専門性の高いスキルを持つ社員を配置した相続・事業承継チームおよびM&Aチームを設置し、外部提携先と連携を図りながら、お取引先の課題解決を支援しています。



商談会による販路拡大支援

お客さまの販路開拓や調達先拡大を目的としたさまざまな商談会を開催しています。

2019年11月には、西日本高速道路および西日本高速道路サービス・ホールディングスと連携して「岡山地区 ハイウェイ大商談会」を開催しました。

本商談会は、地方創生支援の一環として、高速道路のSA・PAを活用した地域製品の販路拡大を目的としたものです。当社お取引先45社が参加し、熱気あふれる商談会となりました。



岡山地区 ハイウェイ大商談会

成長

個人のお客さまへの

最適提案

お客さまのライフプランに合わせた最適な商品・サービスを提供します

ためる

独身世代

- 総合口座
- 財形預金
- スーパー積金

ファミリー世代

- 定期預金
- 財形預金

シニア世代

- 年齢優遇定期預金「円熟世代」
- 退職金運用向け金利優遇サービス「セカンドプラスα」

かいる

- マイカーローン
- カードローン



- 住宅ローン
- リフォームローン
- 教育ローン
- フリーローン



- 空き家活用ローン
- セカンドライフ応援ローン
- 先進医療ローン

運用する・
そなえる

- 積立投資信託
- つみたてNISA

- 投資信託・積立投資信託
- NISA・つみたてNISA・ジュニアNISA
- 個人型確定拠出年金 (iDeCo)
- 保険商品

- 投資信託
- NISA
- 保険商品
- 教育資金贈与預金
- 財産承継プランニング



便利につかう

- 給与振込
- トマトMOTTOカード
- トマトMastercard®デビット
- トマト銀行アプリ



- 取引ステージ優遇サービス「トマト・スマイルプログラム」
- 住宅ローンセミナー
- インターネット・モバイルバンキングサービス

- 年金受取
- 年金相談会
- 相続セミナー



毎日をキャッシュレスに。

初年度年会費
無料



トマトMastercard®デビットは、ご利用と同時にお客さまの銀行口座からお引き落としができる便利なカードです。スーパーやコンビニ、インターネットショッピングなど、毎日のお買い物のお支払いにご利用いただけます。

4つの便利な特長



1/ 世界中で使える!



2/ 使いすぎの心配なし!



3/ 現金で支払うよりおトク!



4/ 15歳以上からお申し込みOK!

お申し込みはかんたん! WEBで完結!

トマト銀行の普通預金口座をお持ちの15歳以上(中学生を除く)のお客さまならご来店不要でかんたんにお申し込みいただけます。



WEB申し込みはこちら



トマト銀行がもっと身近に!



トマト銀行アプリ

24時間365日いつでも口座残高・入出金をご確認いただけます!

<トマト銀行アプリ主な機能>

残高・入出金の明細照会ができる!!

通帳照会に行かなくても
手元で確認!

インターネットバンキングの
契約がなくてもOK!

最大5口座の登録が可能!

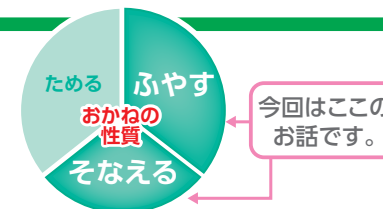


ダウンロードはこちら



人生100年時代！これからの人生を豊かに過ごすため、

「資産形成」を考えてみませんか？



◆人生100年時代

想像できますか？100歳まで生きる人生設計。

1985年は男性74.95歳、女性80.75歳であった日本の平均寿命は、2050年には男性84.02歳、女性90.4歳と伸び続ける将来推計が発表されています。地元岡山県の状況は2015年の都道府県別調査によると、男性が13位で81.03歳（男性全国平均80.77歳）、女性は2位の87.67歳（同87.01歳）と共に全国平均を上回っています。

岡山県は全国的にも上位の長寿県であり、人生100年時代に豊かな人生を歩むためには、自分なりの働き方や老後の過ごし方などの人生設計を考えることが重要となります。

◆将来必要なお金はいくら準備すればいいの？

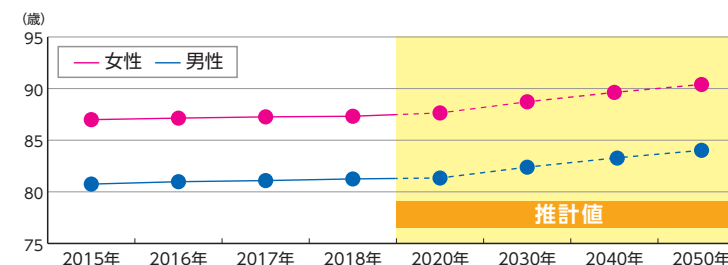
老後の暮らし方や、いつまで働き続けるかなどによって必要な金額は人それぞれ異なりますが、2019年の総務省の調査によると、高齢夫婦の無職世帯（夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみ世帯）における毎月の生活費は約33,000円の不足となっています。仮に65歳から100歳までの生活費を考えた場合、



不足分を補うには、“**毎月の不足額33,000円×12カ月×35年＝約1,386万円**” 必要となります。

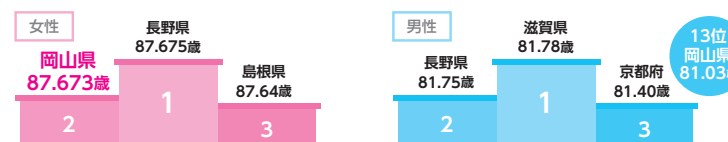
さらに、公的年金の給付水準引き下げ、健康保険料の自己負担増加や介護・療養費などを考慮した場合には更なる上乗せが必要となる可能性があります。

全国の平均寿命の推移と将来推計



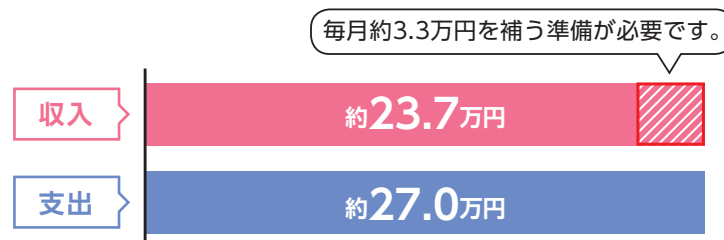
出典：内閣府「平成30年版高齢社会白書」及び厚生労働省「平成30年簡易生命表」より

2015年
都道府県別の
平均寿命



出典：厚生労働省「平成27年度都道府県別生命表の概況」より

ご夫婦で無職の場合 ※高齢夫婦（夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみ）無職世帯の場合



出典：総務省統計局「家計調査報告（家計収支編）2019年平均結果の概要」より
(https://www.stat.go.jp/data/kakei/sokuhou/tsuki/pdf/fies_gaikyo2019.pdf)





◆必要なお金を準備しよう！

必要な金額は人それぞれですが、定年退職後も仕事を続けて働く期間を長くすることも方法の一つです。ただし、これは自分の都合だけでできることとは限りません。現役世代の方が今からできることは、リタイア後を見据えて

少額でもコツコツと資産を積み立てること。これは将来の資産形成に繋がる最初の一步です。預貯金のほかに投資信託などの商品を組み合わせると、比較的安定した資産の成長が期待できます。

一方、気になる「リスク」をできるだけ抑えるためには、**十分な時間を使った長期の積み立てを行うことが重要なポイント**です。



◆便利な制度を活用しよう！

NISAやiDeCoといった言葉を見聞きした方は多いと思いますが、実際に活用されている方はまだ少ないのではないのでしょうか。

少額、長期の投資で得られる非課税メリットもあり、これから資産形成をはじめようと考えている方に向いている制度です。



マイペースにコツコツ！ 「つみたてNISA」

長期・積立・分散投資に適した投資信託による資産形成を支援する「非課税制度」です。毎年40万円までの投資額が対象で非課税期間が最大20年。

iDeCo



自分で入る、もう一つの年金 「iDeCo」

自分で設定した掛金額を拠出して、自分で選ぶ商品で運用しつつ老後の資金を準備する制度です。税制優遇メリットの高い私的年金制度です。

リスクを抑える**3**つのキーワード！

長期

将来に向けた資産形成なので、数ヵ月や1年などではなく、5年、10年といった長い期間をかけて成果を上げることが目標にしましょう。

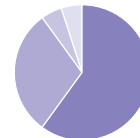


積立

価格が変動する金融商品は、一度に買うのではなく、定期的に一定額を購入することで、価格変動の影響を和らげることができます。

分散

購入のタイミング以外にも複数の地域・通貨（日本や海外）、特徴の異なる複数の資産（株式や債券等）を組み合わせ運用することもリスク抑制の手段です。



トマト銀行でもNISAやiDeCoはもちろん、さまざまな商品を取り扱っており、皆さまの資産形成をお手伝いしています。

豊かな人生に向けた「資産形成」については、お近くのトマト銀行へご相談ください！



SDGs/ESGの取り組み

当社は、ESG(環境・社会・ガバナンス)に関する社会的課題の解決に積極的に取り組むとともに、国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献することで、持続可能な地域社会の実現に取り組んでいます。



トマト銀行グループSDGs宣言

トマト銀行グループは、「夢をかなえ、地域の未来を創造する銀行」という経営ビジョンのもと、金融サービスの提供を通じてSDGsの達成に貢献し、地域の社会・環境課題の解決と持続的な成長に取り組んでまいります。



重点テーマ	対応する目標	当社のこれまでの主な取り組み
地球環境の保全 環境に配慮した企業活動とお客さまの環境保全の取り組みを応援することにより、持続可能な地球環境の保全に貢献します。	     	○トマト銀行環境方針の策定 ○業務を通じた環境への取り組み ○オフィスにおける環境配慮活動 ○地域における環境配慮活動
地域経済の活性化 お客さまの多様なニーズに応じた本業支援活動を通じて、地域経済の活性化に取り組めます。	   	○事業性評価を通じた事業・財務の本業支援活動 ○事業承継支援 ○産学官金連携 ○おかやま共創パートナーシップに基づく取り組み ○トマト創業支援ファンドの活用 ○販路拡大商談会の開催
豊かなくらしの実現 お客さま本位の最適な金融サービスの提供と地域社会の課題解決に積極的に取り組み、豊かな地域社会の実現を目指します。	      	○お客さま本位の最適提案活動 ○地方創生への取り組み(寄付型私募債等) ○6時間リレーマラソンへの特別協賛 ○地元スポーツチーム応援定期預金の取り扱い ○ユニバーサルデザインの推進 ○マネーロンダリング対応 ○金融教育への取り組み(夏休み! トマト銀行子ども探検隊)
ダイバーシティの推進 すべての社員が能力や個性を最大限発揮し、働きがいを感じる職場環境づくりに取り組みます。	  	○健康経営への取り組み ○育児・介護と仕事の両立支援 ・取得しやすい短時間勤務制度の導入 ・企業主導型保育園との提携拡充 ・育児短時間勤務者向けセミナーの実施 ○ライフデザインセミナーの開催

ご存じですか“SDGs” SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットにおいて、全会一致で採択された、2030年を期限とする世界共通の17の目標です。



業務を通じた環境への取り組み

環境に配慮した金融サービスの提供を通じて、お客さまの環境保全活動を応援しています。



トマトECO（エコ）定期預金
贈呈式

- ▶ 環境配慮型融資商品の取り扱い
- ▶ トマト・エコ私募債の取り扱い
- ▶ トマトECO（エコ）定期預金の取り扱い
- ▶ 再生可能エネルギー事業の支援

オフィスにおける環境配慮活動

オフィスにおける省エネ・リサイクル活動を推進し、環境負荷低減に取り組んでいます。

- ▶ 環境にやさしい店舗づくり
太陽光発電設備、LED照明、省エネ型空調設備
- ▶ 省エネやリサイクルの推進

地域における環境配慮活動

社会貢献活動を通じた地球温暖化防止と環境保全活動を推進しています。



トマト銀行6時間リレーマラソン

旭川一斉清掃



- ▶ 役職員による一級河川「旭川」一斉清掃へのボランティア参加
- ▶ 地域スポーツ大会におけるカーボンオフセットの実施

地方創生への取り組み

お客さまよりいただく私募債発行手数料の一部を利用して、地域の学校や自治体等へ寄付や物品を寄贈する寄付型私募債を取り扱っています。

- ▶ トマト学校寄付型私募債
- ▶ トマト・スポーツチーム応援型私募債
- ▶ トマト地方創生私募債
- ▶ トマト復興応援私募債



トマト学校寄付型私募債 贈呈式



金融教育への取り組み

地域の小学生を対象に、お金の大切さや銀行の役割を学んでいただく「夏休み！トマト銀行子ども探検隊」を2008年より毎年開催しています。



夏休み！トマト銀行子ども探検隊

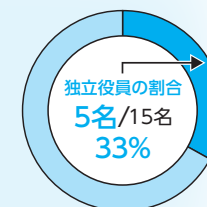
健康経営への取り組み

当社は、「健康経営優良法人認定制度」において、特に優良な健康経営を実践している企業として、2020年3月、「健康経営優良法人2020（大規模法人部門）」に認定されました。



コーポレート・ガバナンスの充実

◆社外役員による監督機能の強化
豊富な経験と高い専門知識を有する社外取締役2名（うち女性1名）、社外監査役3名を選任し、監査・監督機能の実効性を確保しています。また、社外役員5名を独立役員として東京証券取引所へ届け出しています。



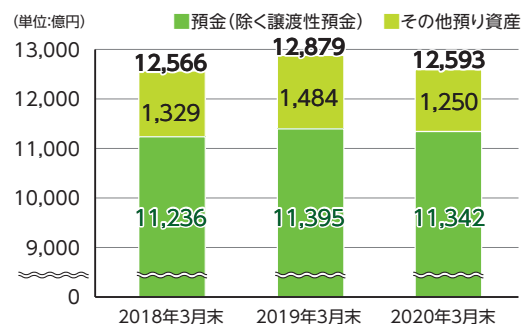
2019年度の業績ハイライト (単体)

- ・ 預り資産は、インターネット支店の金利の引き下げによる定期預金の減少や株式相場下落による投資信託残高の減少などにより、前期末比286億円減少して1兆2,593億円となりました。
- ・ 貸出金は、金利水準等を踏まえた貸出金ポートフォリオの改善に伴う大企業向け貸出や地方公共団体向け貸出などを減少させたことにより、前期末比331億円減少して9,547億円となりました。

- ・ コア業務純益は、低金利政策の継続による貸出金利息の減少などにより、前期比128百万円減益の1,836百万円となりました。
- ・ 経常利益は、与信関連費用は減少したものの、コア業務純益の減少や新型コロナウイルス感染症拡大の影響による株式減損処理を行ったことなどにより、前期比86百万円減益の1,745百万円となり、当期純利益は前期比63百万円減益の1,219百万円となりました。

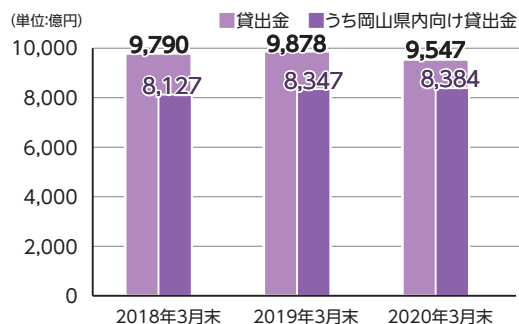
預り資産

12,593億円
(前期末比△286億円)



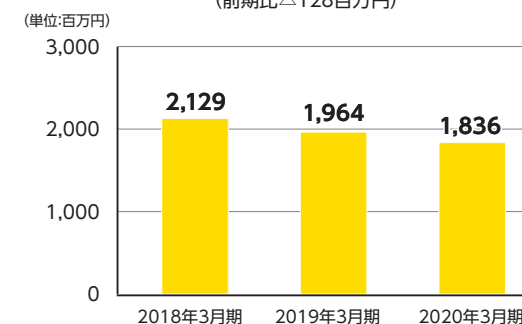
貸出金

9,547億円
(前期末比△331億円)



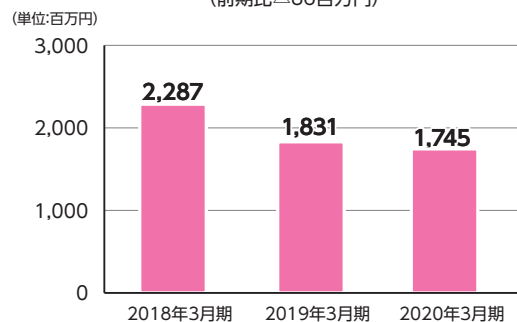
コア業務純益

1,836百万円
(前期比△128百万円)



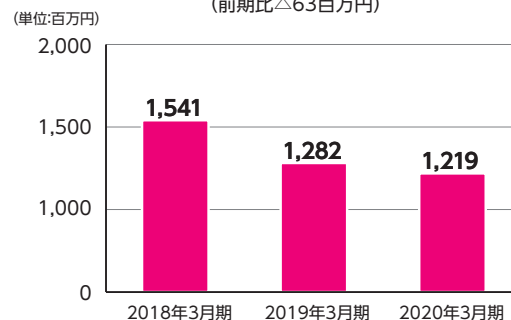
経常利益

1,745百万円
(前期比△86百万円)



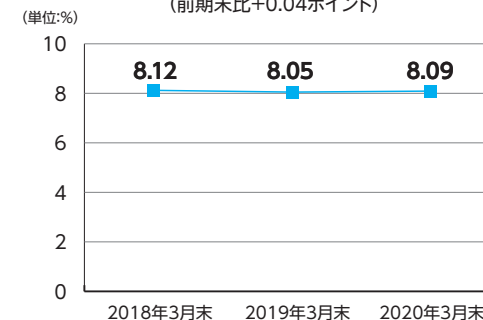
当期純利益

1,219百万円
(前期比△63百万円)



自己資本比率

8.09%
(前期末比+0.04ポイント)



当社の概要 (2020年3月31日現在)

本店所在地 …… 岡山市北区番町2丁目3番4号

創立年月日 …… 1931 (昭和6) 年11月9日

資本金 …… 178億1,000万円

預金 …… 1兆1,342億円

貸出金 …… 9,547億円

店舗数 …… 61カ店(岡山県53カ店、兵庫県4カ店、
広島県・大阪府・東京都各1カ店、
インターネット支店1カ店)

社員数(嘱託・パート社員除く) …… 825名

役員 (2020年6月26日現在)

取締役社長 (代表取締役)	高木晶悟	取締役	横井手慎也	取締役※1※3	上岡美保子
常務取締役	中山雅司	取締役	延永邦彦	常勤監査役	古武卓弥
常務取締役	福井康人	取締役	井上正樹	監査役※2※3	吉岡一巳
常務取締役	坂手計之	取締役	中浩二	監査役※2※3	三宅のぼる
常務取締役	畠田洋之	取締役※1※3	小川洋	監査役※2※3	奥田哲也

※1は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。※2は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。※3は、東京証券取引所へ届出を行っている独立役員であります。

トマト銀行グループ (2020年3月31日現在)

トマトビジネス株式会社	トマトカード株式会社	トマトリース株式会社
銀行業務の後方事務	クレジットカード業務	リース業務
当社出資比率 100%	当社出資比率 100%	当社出資比率 100%

株式の状況・株式のご案内 (2020年3月31日現在)

株式の状況

- 発行済株式総数 … 18,679,030株 (普通株式11,679,030株、
第1回A種優先株式7,000,000株)
- 株主総数 … 7,785名 (普通株式7,767名、第1回A種優先株式18名)

株式のご案内

- 決算日 毎年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月に開催します。
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
- 公告方法 電子公告とします。
インターネットホームページ
<http://www.tomatobank.co.jp/>
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞および岡山市において発行する山陽新聞に掲載して公告します。

- 株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

- 株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎0120-782-031

(インターネットホームページURL)
<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いします。

＜単元未満株式の買取または買増請求について＞
単元未満(100株未満)の株式につきましては、買取または買増を請求いただくことができます。その手続きを希望される場合には、単元未満株式が証券会社等の口座に記録されている株主様はお取引の証券会社等へ、特別口座に記録されている株主様は特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行株式会社 ☎0120-782-031)へ、それぞれお申し出ください。



日本遺産認定

笠岡市

知ってる！？悠久の時間が流れる石の島 ～海を越え、日本の礎を築いた せとうち備讃諸島～

岡山県と香川県の間を展開する「備讃諸島」の花崗岩と石切り技術は長きにわたり日本の文化を支えてきました。日本銀行本店本館など、日本のランドマークとなる建造物が、ここから切り出された石で築かれています。備讃諸島には巨石を切り、加工し、海を通じて運び、石と共に生きてきた人たちの稀有な文化が息づいています。

日本の建築文化を支え続ける石

日本の近代化が進んだ明治後期から昭和初期にかけて建てられた日本銀行本店本館や東京駅丸ノ内本屋などの日本を代表する近代洋風建築には、瀬戸内海の島々、とりわけ備讃諸島で産まれた花崗岩が使われました。

また、我が国が世界に誇る石造建造物の代表ともいえる大阪城の石垣にも備讃諸島から運ばれてきた石材が大量に使われています。



石切りの渓谷(たに)展望台



日本銀行 本店本館



東京駅丸ノ内 本屋



靖国神社 石鳥居



大阪城

石切りの歴史

400年の歴史が凝縮されている、丁場(ちようば)と呼ばれる石切場があります。備讃諸島を巡ると、石の技術の変遷を肌で感じることができます。



石切りの手作業時代



千ノ浜の護岸景観

石の産地を支えた海運

島の中で山と海が一体となりコンパクトにまとまっていることが、石切りと石の陸運、海運を容易に行えるようにさせていました。丁場から切り出した石を積み出した小さな港は大小の端材を組み上げた独特の護岸となっています。

石と共に生きる 生活文化

巨石は島民の精神文化と結びつき、崇拜と祈りの対象となってきました。島の石材産業は富を生み、営みは文化と娯楽を島に遺しています。



北木島石切唄

笠岡市ホームページ <https://www.city.kasaoka.okayama.jp/site/japan-heritage/>
日本遺産特設サイト <https://stone-islands.jp>